



授業者: 赤嶺一字 半田郷子

授業づくりの工程

前題材までに到達している実態を把握

子どもに望む姿を想定

指導内容の決定 (研究産物を基に)

学習指導要領の指導内容から段階を決定

題材目標の決定

教材の設定

題材設定の立場記述

題材計画構想

授業構想シートを活用

本時案作成

題材開始

R研で毎時間の授業の評価・改善

題材終了

観点別評価の実施

実践事例

指導内容	【聞くこと・話すこと】 小学校3・4年	
教材と仕組み	『サイコロトーク』で、サイコロのテーマに沿って、図書やインターネット検索して調べた付箋メモを使って話の構成を考えて話したり、その後の質問に応じたりして友だちと対話を楽しみながら、詳しく話したり聞いたりする教材	
三観点	題材目標	評価規準
知識及び技能	相手に伝えたいことを「はじめ・中・終わり」の構成で話すとき、相手に伝わるいくつかの事例を関連づけて「中」を話すとより相手に伝わりやすいことがわかり、事例メモを相手に伝わるように並べて話す	相手に伝わるいくつかの事例を関連づけて「中」で、事例メモを相手に伝わるよう並べて話す
思考力・判断力・表現力等	『サイコロトーク』で食材を美味しく食べる工夫を「はじめ・中・終わり」で話すとき、「中」で話す内容を、食材や味、調理方法、食感、見た目などから相手に伝えたい視点を考え、その視点に合ったいくつかの事例を選んで関連づけて話す	『サイコロトーク』で、食材・味・食感・見た目などの視点に合ったいくつかの事例を選んで関連づけて話す
主体的に学習に取り組む態度	ことばがもつよさに気づくとともに幅広く読書をし、国語を大切に思いや考えを伝えようとする態度を養う	自分や友だちが話す動画を友だちと見て、よかったことやよりよくなることについて話し合っ、考えを深める

三観点	評価
知識及び技能	「はじめ・中・終わり」の構成で話すとき、事例メモを並べて、相手に伝わるいくつかの事例を関連づけて話すと、より相手に伝わりやすかった。
思考力・判断力・表現力等	『サイコロトーク』で美味しく食べる工夫を、いくつかのジャガイモのお菓子を使ったレシピを調理方法と関連づけたり、エディブルフラワーの食感と味を関連づけたりして話すことができた。
主体的に学習に取り組む態度	自分や友だちが話す姿や動画を見て、「もう少しスラスラ話すとよいよね」や「今まで知らなかった●の秘密がわかって面白かったね」「▲と■を比べて話すと、わかりやすいね」などと言う姿が見られた。



対話的に学ぶような教材設定の工夫

望む姿	働きかけ	結果	改善内容とその結果
友だちと話し合っ、話を深めて、相手により伝わるように、話してほしい	【展開】で、話す内容や話し方のよいところ、よりよくなることについて、2人組で確かめ合うようにする	・主体的に取り組めていない ・友だちの話を聞いていない	・2人組で確かめ合う活動の視点を整理して、聞き取りシートを活用 ・話す、聞く、司会、画像、ビデオなど、役の設定 すると… →自分たちで画像やイラストを準備して、サイコロトークを開いて、より主体的に楽しんで取り組むようになった



いくつかの事例を関連づけて話すためのワークシートの工夫

望む姿	働きかけ	結果	改善内容とその結果
視点に合ったいくつかの事例を選び、それを関連づけて話してほしい	「はじめ・中・終わり」で考えるシートと事例メモを使うようにする	関連づけて、話せていない	・事例の2種類を関連づけて話すシート(右図)から自分で選んで使い、その後は「はじめ・中・終わり」のシートを使って話す すると… →関連づけて話すことができるようになった

次題材に向けて

- ・ワークシートや事例メモを使って、話す内容を整理したり、聞いたことをメモしたりして、考えを深めていく
- ・意欲をもって主体的に取り組むように役割やルールを決めたり、対話的に学ぶように話し合い活動を設けたりする
- ・図書やタブレット端末を使って、身近な生活や社会に関する様々な情報を得て、それらの情報と情報を関連づけて、相手に伝わるように話す